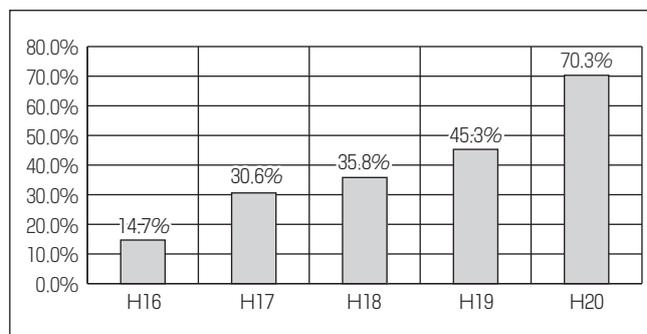


【施策4】 望ましい勤労観・職業観をはぐくみます

(施策の現状)

高度情報化や国際化などさまざまな分野において急激に変化する現代社会では、子どもたちが将来、社会人・職業人として自立することができるよう、主体的に進路を選択・決定する能力や勤労観・職業観などをはぐくむことが重要です。

〔小学校職場見学実施率（福島県）〕



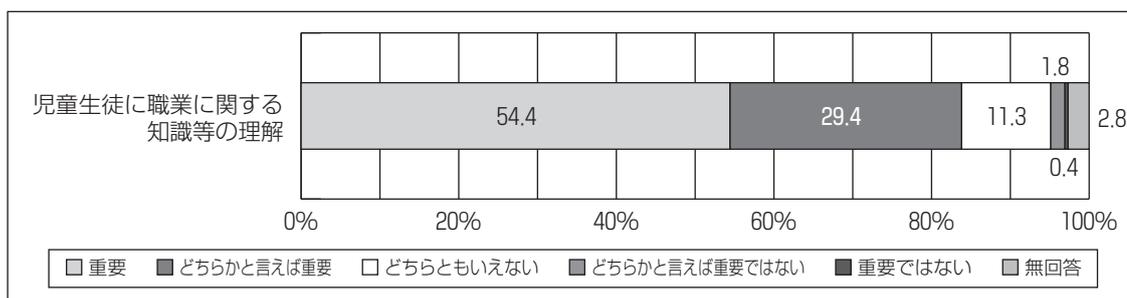
本県ではこれまでに、キャリア教育³⁴の全県的な推進と指導者養成をねらいとした教員の研修を実施するとともに、キャリア教育³⁴の核となる体験活動を充実させるため、小・中学校にあっては職場見学や職場体験を、高等学校においてはインターンシップ³⁵を推進してきました。

その結果、小学校の職場見学実施率は年々上昇しており、平成20年度の中学校の職場体験実施率（福島県 97.9%、全国平均 96.5%）及び高等学校におけるインターンシップ³⁵実施率（福島県 75.5%、全国平均 69.1%）は、全国平均を上回っています。

新規高卒者の就職内定率と県内就職率は、景気の動向により左右されるものですが、平成21年3月においては、就職内定率は、96.7%（文部科学省調べ）、県内就職率は、76.3%（福島県教育庁学習指導課調べ）となっています。

県民アンケートでは、「児童生徒に職業に関する知識等の理解」が「重要」あるいは「どちらかというと重要である」と答えた割合が8割を超えており、子どもたちに望ましい勤労観・職業観をはぐくむことについて、県民が特に重視しているという結果が出ています。

〔各施策の今後の重要性について〕



³⁴ キャリア教育……児童生徒一人一人に望ましい勤労観・職業観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力や態度を育てる教育のこと。

³⁵ インターンシップ……生徒や学生が在学中に企業等において就業体験をすること。

(基本的方向性)

- ・ 児童生徒が自己の在り方や生き方についての自覚を深め、社会に貢献しようとする態度を身につけ、将来充実した職業生活を送ることができるようにするため、小学校段階からの計画的かつ継続的なキャリア教育³⁴の取組みを推進します。
- ・ 専門高校³⁶が地域と連携し、地域産業の振興を担う人づくりに努めるなど、専門高校³⁶における職業教育³⁷を推進します。

【今後の取組み】

□ 教育活動全体を通じたキャリア教育³⁴の推進

小・中学校においては、他者と関わる力であるコミュニケーション能力の育成や、学ぶこと・働くことの意義を理解させるなど、教育活動全体を通して、勤労観・職業観の基盤形成に努めます。高等学校においては、自己の能力や適性等を踏まえて進路選択・決定ができるような能力や態度の育成に努めます。

□ 職場体験活動の推進

小・中学校においては、発達の段階に応じて職業や仕事についての理解と自己の可能性や適性についての理解を深めることができるよう、職場見学や職場体験の充実を図ります。

□ インターンシップ³⁵等の推進

高等学校においては、自己の能力・適性等を踏まえて適切な進路選択・決定ができるようインターンシップ³⁵の推進を図るとともに、生徒の就職希望が実現するよう支援します。また、学校での学習と企業での実習を組み合わせ、より実践的な知識・技能を身につけさせるデュアルシステム³⁸の活用の普及に努めます。さらに、将来の地域医療を担う人づくりを進めるため、公立大学法人¹⁶福島県立医科大学（以下、「県立医科大学」という。）、市町村や地域の医療機関等と連携し、医学と地域医療に対する関心を高め、医学部進学希望の実現を図ります。

¹⁶ 公立大学法人…… 15 ページ参照。

³⁴ キャリア教育…… 31 ページ参照。

³⁵ インターンシップ…… 31 ページ参照。

³⁶ 専門高校……農業科、工業科、商業科などの職業教育を主とする学科などを置く高等学校。

³⁷ 職業教育……一定の又は特定の職業に従事するために必要な知識、技能、態度をはぐくむ教育。農業高校、商業高校、工業高校などで行われている教育のこと。

³⁸ デュアルシステム……企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより、若者等により実践的な技能・技術等を身につけさせる仕組み。

□ 専門高校³⁶における職業教育の推進

地域産業の振興を担う人づくりを進めるため、専門高校³⁶においては、教員を企業等に派遣し指導力の向上を図るとともに、地域の技術者等を講師とした実習等を通して生徒の実践的な知識や技能の向上を図るなど、地域と連携した職業教育³⁷を推進します。

〔施策4 指標〕

指標名	現況値	目標値	備考
県立高校生の就職決定率 (県立高等学校全日制・定時制課程)	H20年度 97.3%	H26年度 100%	【関連施策】 施策20
新規高卒者の県内就職率 (県立・私立高等学校全日制・定時制)	H19年度 79.5%	H26年度 85.0%以上	
県内企業に就職した高卒者の離職率 (県立・私立高等学校全日制・定時制)	H20年度 49.6%	H26年度 40.0%以下	新規高卒者の3年以内の離職率
インターンシップ ³⁵ 実施校の割合 (県立高等学校全日制・定時制課程)	H20年度 75.5%	H26年度 78.0%以上	
県立工業高校のジュニアマイスター ³⁹ 認定者数	H20年度 192人	H26年度 250人以上	

³⁵ インターンシップ……31ページ参照。

³⁶ 専門高校……32ページ参照。

³⁷ 職業教育……32ページ参照。

³⁹ ジュニアマイスター……将来の仕事や学業に必要とされる国家職業資格や各種検定、及び各種コンテストの入賞実績を点数化し、30点以上を「シルバー」、45点以上を「ゴールド」として全国工業高等学校長協会が認定する顕彰制度。